

校長 2学期 終業式 あいさつ

おはようございます。

令和5年度2学期が終わります。

2学期には、全学年バスに乗って行く社会見学や、6年生の修学旅行、5年生の野外活動、広小学校150周年記念式典や学習発表会と大きな行事、楽しい行事がいろいろありました。みんなでチャレンジして、パワーアップしていきました。

そんなみなさんのがんばりを評価した通知表「あゆみ」が、担任の先生から昨日・今日と、家の人を通して手渡されます。

この通知表「あゆみ」にはどんな意味があるのでしょうか。校長先生は、こう思います。

あゆみの「あ」は、新しい目標を見つけるため あゆみの「ゆ」は、夢を叶える力を身に付けるため あゆみの「み」は、魅力ある自分に出会うため

みなさんは、この2学期に新しい目標を見つけ、取り組みましたか。

夢を叶える力を身に付ける努力をしましたか。

魅力ある自分に気付くことができましたか。

通知表「あゆみ」が、2学期を振り返り、みなさんの成長や成果に、また3学期につながることを期待しています。

ここで、校長先生から今年最後のみなさんへのプレゼントということで、読み聞かせをします。

[絵本「りんごがひとつ」読み聞かせ]

みなさん、温かい気持ちになりましたか。

17日間の冬休みには、楽しみにしていることがいっぱいあるのではないのでしょうか。いろいろな体験をして、パワーを蓄えてください。そのためにも**当たり前**のことを**当たり前**に**取り組む**ことも必要ですよ。

それでは、冬は寒いですが、心も体も温かくして、3学期に笑顔で会いましょう。

呉市立広小学校
校長 後東貴之